A 0 2 8 7 (4 3) 3 7 6 4 FAX 0 2 8 7 (4 3) 2 2 9 2

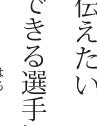
ゆかりびと

21 口

第

クライミングの楽しさを伝えたい みんなを魅了できる選手に

矢板東高校3年 船木 さん



学4年生の頃。テレビ番組「SASUKE」に 通っていたと言います。 当時はとにかく登ることが楽しくて、毎日のように そう話す船木さんがクライミングを始めたのは小 「T‐ROX」に通い始めたのがきっかけでした。 - 幼い頃から高いところに登るのが好きだった

昨年、一昨年のリードユース日本選手権では、2 日本代表として、フィンランドで開催される世界 優勝を果たし、全国1位に輝きました。8月には 年連続で全国3位に入賞。そして今年、 ユース選手権に挑戦します。 中学生ごろから公式戦などに臨むようになり、 悲願の初

らホールドヘジャンプするランジの練習に励みまし スだったと話す船木さん。ホールドに届かず落下 ジが自分の武器になっていると言います。 た。今では強靭な体幹と小さい体を生かしたラン 競技をする中で、体が小さいことがコンプレック 何度も悔しい思いをした事から、ホールドか

葉を添えつつ、「オリンピックに出場すること」と、 はまだまだ力が足りていないけど」と控えめな言 時間は船木さんにとっても良い経験となり、 成長に この2年間、クライミングに向き合い積み重ねた 野先生。挫折を味わったり、努力が実を結んだり、 ように見える」と話すのは3年間担任を務める星 かないような理由でした。「自信につながっている 回笑顔で対応してくれた船木さんからは想像がつ いてみると「とにかく恥ずかしくて」と苦笑い。今 大きな夢を語ってくれました。 つながっていたようです。将来について聞くと、「今 しましたが実現しませんでした。当時の心境を聞 実は、初入賞した2年前、広報紙の取材を依頼



編集後記 **Editor's Note**

▷埼玉県で開催された全国広報コンクールの表彰式に参加し てきました。今年は、昨年よりもひと回り大きい賞状と重厚感 のある盾をいただき、改めて賞の重みを実感しました。この重 みに恥じない広報紙づくりに励まねば(汗)と思いました(DYC) ▷ JAMSTEC の見学は通常抽選制で、なかなか当選しないと のこと。高野さんのご配慮で、予定にはなかった「よこすか」 にまで入れることに…!中高生のために惜しみなく施設を案内 してくださった高野さんの人柄の温かさに感動しました。(あ)